

【特集】 創立八十周年に寄せて

福島県白河市 岩谷一巳

日本花菖蒲協会創立八十周年を迎えられ心からお喜び申し上げます。

平成二十年十二月に初雪が降り、根雪になるかと思えば正月には溶け、雪のない正月でした。那須山から吹きおろしの風は強風寒風でポット植えの名札が飛び行き先わからずじまいです。

台風並みの風が四月上旬頃まで吹き例年、花菖蒲は寒さを雪が護ってくれていました。今年は雪がなく寒風にさらされました。四月から六月上旬まで雨が降らず、中々芽が出ず六月中旬になり恵みの雨が降り、やっと芽が出ました。四月五月は水道水をあげても駄目でした。六月下旬に花芽が上がり七月初めに咲き始めました。七月十日よりポット植えが咲き、その後、畑植えが咲きましたが、畑は成長が良くないです。中々思う様にはなりません。

本年は花のパワーを頂く事ができませんでした。来年は良くなるようにと栽培中です。雨が降り続くと思えば日照りになり、本年は天候が不順でしたが、ポ



城里町の広報誌の表紙を飾る菖蒲園

ット植えは順調です。

今後とも良きご指導をくださいますようお願い致します。日本花菖蒲協会の発展と皆様の御健勝をお祈りします。

茨城県城里町 山崎秀雄

一株の花菖蒲に魅せられて

私は、現在、休耕田二千五百㎡、畑六百㎡に花菖蒲を約六十種類ほど栽培して楽しんでます。最近、各新聞の地方版によく掲載されます。昨年は、NHKの「一都六県」という番組で生中継で報道されました。六月、花の季節にはたくさんの観光客がやって賑わいます。毎年第三土曜日曜には町の社会福祉協議会と一緒に「花しようぶ祭り」を開催して大いに盛り上がっています。苗も販売してその売り上げは全

額、社会福祉の為に寄付しております。

さて、私が花菖蒲を栽培するきっかけとなったのは、昭和四十五年の六月に、仕事先で道端に花菖蒲が咲いているのを見て、そのきれいに魅せられてしまったのです。それから苗を買って求め増やし、毎年買い求めては増やし現在に至ったのです。これまでにするには大変苦労もありました。株分けの方法や施肥、病虫害に対する処置等々、自分なりに勉強も致しました。毎年同じ場所にきれいに咲かせるというのは難しいことですが、努力して咲かせています。

特に朝霧に濡れた花菖蒲を見たときなどは感無量になります。毎日のように近隣のデイスービスのお年寄りが花を見に来てお茶を飲みながら楽しんで帰られます。自分の趣味である花菖蒲が他人にも喜びを与えることができ嬉しく感じています。

栃木県宇都宮市 酒井かおり

花菖蒲とともに

私は大学の卒業論文をとおし、花菖蒲、中でも長井古種と出会いました。今年花菖蒲園に足を運び、まず花を見て勉強することを課題とし、長井あやめ公園、一迫あやめ園、大船植物園での展示会、そして明治神宮に行きました。大船植物園では清水理事長じきじきにご指導を賜り、さらに研究試料

にと数品種の花被もご提供頂き、感謝すると共に感激しました。また、清水

理事長のご紹介により、長井市商工観光課の今野一彦氏に長井あやめ公園で貴重なお話を聞くことができ、数種の長井古種の苗や種子もご提供頂きました。種子は、いくつか発芽したので花が咲くのが楽しみです。現在、植え替えや、国立科学博物館筑波実験植物園の岩科司先生のもとで色素分析などを行い、充実した毎日を過ごしています。今年花菖蒲をとおし、良い出会いに恵まれました。花菖蒲との付き合いは2年弱とまだ浅いですが、この出会いを大切に花菖蒲の研究に励みたいと思います。(宇都宮大学大学院 農学研究科 修士課程1年)

埼玉県八潮市 横内尚子

今、花菖蒲に夢中

16、17年前北海道旅行で知り合った群馬県の御夫婦に、「前橋に住む友人が新聞に載るほどの花菖蒲を育てているから。」と誘われ、咲いている株ごと掘って貰ってきて、埼玉県八潮市の私の家庭菜園の隅に植えたのが始まりでした。25、26種を一種類八株、野菜のように植えました。13年前花菖蒲が大好きだった奥さんが亡くなって、御主人が一人ではできなくなつて私が全部貰いました。それまでは何となく咲かせていたのが

NHKの趣味の園芸を頼りに試行錯誤の連続でした。3〜4年前から加茂菖蒲園に行き、十種類ずつ増して花菖蒲にのめり込み、堀切菖蒲園に毎日のように通い、葛飾区文化財委員の保田さんと知り合い、昨年十月の協会の研修会に参加させて頂き、山脇先生の早咲きの花菖蒲に魅せられて即実行。今年は居間の「曇りガラス」を「透明」に入れ替えて頑張ります。協会の皆様のご指導をお願いいたします。

埼玉県深谷市 市川忠司

〜花菖蒲協会の思い出〜

私の家は農家ですので家の周りに畑があり、また、元来私も園芸が好きで、妻もお花が大好きなので色々な花木や草花を作って楽しんでいました。振り返りますと昭和45年頃から花菖蒲に魅せられ近所から貰ったりしました。当時まだ50歳の若さでしたが、本年はもう米寿を迎えてしまいました。思えば時のたつのは早いものですね。あれから協会のあるのを知り入会させてもらい明治神宮での総会・勉強会、その後、毎年ある視察見学旅行には、ずい分多く出席しました。東北地方、関西、中国地方、また近くは潮来、加茂花菖蒲園など忘れられません。平成13年70周年の松本楼での祝宴の折には長老ということと乾杯の首頭をとりまし

た。花菖蒲に魅せられ、心にも余裕も出来たのかお陰様で平成21年5月1日付で高齢者叙勲ということと旭日章を受章することができました。妻も元気でおります。近況まで。

千葉県木更津市 武内 暢宏

協会創立八十周年に寄せて、本年、1品種を登録申請させて頂きました。この花は、千葉県原産ノハナショウブの実生の中で選別しました。花の大きさは、10cm前後の小輪です。花型は六英で目は細く長くあかも夜空に輝く星のように見えたので「一等星」と名付けました。発見・選別してから十年以上になり数も増えましたので今回発表させて頂きます。六英花はその他にも3〜4品種発見されましたが、性質が弱かったりしましたので処分しま



一等星

した。一番丈夫なもので目が細く長いものを残しました。

東京都世田谷区 金子嘉明

〜花菖蒲とともに〜

私は昭和六十三年、靖国神社で開催されていた、奉納花菖蒲展で、小林幹智氏、松本一郎氏にお会いし、太平洋戦争で亡くなった戦友の御霊を、慰める慰霊の気持ちで花菖蒲を鉢植え栽培して、奉納をして居られることをお聞きし、我が家に縁の方々も祭られてい

る関係もあり、今まで手掛けた花を辞めて、花菖蒲一本に絞って栽培する事にし、両氏のすすめもあり入会しました。会には花菖蒲の大家、故平尾先生が指導と審査員をして居られた由、東京花菖蒲会で小林、松本氏は日本花菖蒲協会の会員でもありました、両先輩に花菖蒲の事を色々とお親切に指導を受けました。平成八年初夏に加茂花菖蒲園を訪ねて当時加茂会長、永田氏に会い日本花菖蒲協会の事務局もあり入会しました。翌年の例会より毎回出席し、協会の大先輩方と歓談し、有意義な栽培方法が聞けました。毎年開催の大船植物園での協会の花菖蒲展で、小林昇氏の見事な盆様づくりが目が止まりました。当時靖国神社で展示してあったのを思い出して、小林氏にお逢いして指導して頂きました。それ以来毎年花菖蒲展に当番として家内と参加してい

ますが、仕事の関係で時間も無く栽培は上達せず、皆さんの栽培された見事な出展花を観るだけです。仕事を辞めたら、花菖蒲とじっくり取り組みたいと、考えている昨今ですが、自分の余生がそれまで続くか頑張つて参ります。会を通じて大勢の方と知己に成りました、ご指導、ご鞭撻を頂き厚く御礼申し上げます。合掌

東京都世田谷区 日高万典

〜都会の花菖蒲会のお願い〜

展覧会場にも恵まれ、都民は花菖蒲大好きというのに、東京花菖蒲会が悩んでいる。或いは、困ることになると予想している事を、書き出してみます。

1 日当たりのよい場所が無い。建物が高層化され、あるいは、マンション住まいになるなど、日当たりが悪くなっている。人の住む場所ですら少なくなっているのですから、日当たりの良い所に鉢を置きたいと、望む方が無理と言ってしまえば、それまでですが、会員の増えない第一の理由がこれだろうと思われまます。一方、マンションの屋上は、日当たりと風通しが良すぎで、成長が止まってしまいます。

2 花菖蒲には連作障害があり、鉢植えはその影響を強く受けますので、庭のない都市生活では、土は全部購入することにします。その上、古土を捨てる場所もなく、全部ゴミとして出す

のは、心苦しいものです。古土が活用出来たら、どんなに良いことか。

3 鉢は、六号鉢にしましたので、以前の七号鉢に比べれば土は1/2に減らしましたが、これ以上は鉢を小さくすると、花の品種の特性を維持できません。六号鉢でギリギリです。鉢を小さくしても、立派な花が望める品種が無いものかと思えます。今までは花期が短いので、労多くして、功少なしの感が強く、花期が短すぎました。苦しまぎれに、日本花菖蒲協会の委員の皆様に訴えます。

イ 日当たりが少し悪くても、或いは半日陰でも、よい花が見られる品種

ロ 枝咲き性で、花首の強いもの

ハ 連作障害は、稲のように殆ど無いもの

二 矮性である品種
など、などです。

私ども東京花菖蒲会では、特別入選花（新品種の出現に与える）として選抜基準の中に、これらの目標を掲げて、会員に渡しておりますが、いまだに実現しておりません。平尾先生も、かねがねおっしゃっておられました「皆が交配を試みることで、交配する人が少しでも増えれば、新しい品種の出現が、それだけ多くなる。」これだと思っております。以上の諸点が達成されれば、都会での花菖蒲作りに、新たな活路が開かれると思うのです。もちろん私たちも、

都市内の花作り愛好者として努力します。よろしくお願いいたします。

（東京花菖蒲会会長）

東京都中野区 三崎 啓二郎

「燕子花図」について

彼の有名な尾形光琳画く「燕子花図」のカキツバタの花についてですが、どなたかが、既に指摘されているかも知れませんが、カキツバタの花にしては立派すぎる事で、どう見てもハナシヨウブの花としか考えられないことです。唯、「燕子花図」に画かれた様な立派な花容のハナシヨウブが光琳の活躍していた時代に存在していたかどうかが問題で、あるいは光琳の絵空事かも知れません。

東京都板橋区 小林 昇

「巡り会った“美登里”」

この花は、会報17号の裏表紙に写真が掲載され、花銘がつけられた花です。思えば30数年前の話ですが、何故か鮮明に覚えています。研究会の会場で話題となり、品種名が分からず作出者の平尾秀一さんより、あまりによく咲いているので写真に撮ったが、いまだに名前はつけていないとの話でした。その時、高萩市の大森嘉光さんより“美登里”と命名して愛培していると話され、満場一致で決定した次第です。深い底白絞りの控えめな藤色で整つ



会報17号より「美登里」

ています。

東京都稲城市 戸塚由美子

「花菖蒲に感謝」

日本花菖蒲協会創立80周年、おめでとございませう。

私が花菖蒲と出合い、その美しさに魅了されたのは、30年以上前の事です。実家の納屋の裏に咲いていた紫の半八重の大輪花。「なんて、きれいで豪華で繊細な花だろう・・・」まだ小学生でしたが、こんな風に感じ、花好きの私は、それが花菖蒲だとすぐにわかりました。間もなく、NHKから、富野先生の「ハナシヨウブ」が発刊され、発売を待つてお小遣いで購入。この本の中で「日本花菖蒲協会」が紹介されておりましたが、その当時から会員になるのが夢でした。（かなり変わった小学生ですね（笑））。中高生の頃、園芸店で苗を見つけ、自分で育て花を咲かせて、さらに好きになり、そして現在、実際に多くの品種や古花にふれ、この花の長い歴史を肌で感じています。

今、花菖蒲を通して、貴重な出会いをいただき、また、協会会員の一人として、日本が世界に誇る園芸文化の一端（の中のほんのかけら）に身を置くことができることに、心から感謝いたしております。今後も、諸先輩方にご指導、ご鞭撻いただきながら、花菖蒲と協会の発展に僅かながらでもお手伝い

できたらとても有難く存じます。

東京都青梅市 市川利和

（柚保花菖蒲園のこと）

私の住んでいる青梅に、立川断層の地殻変動により堰き止められ出来た沼のほとりに花勝美が咲き乱れていたことから、花勝美咲く沼「勝沼」という地があります。

古の里のように花菖蒲の里を甦らそうと思ひ立ち、葦やガマの生い茂る谷戸の休耕田を借り花菖蒲園造りに着手し以来五年、花菖蒲園と云えるほど広くない場所ですが、江戸時代より多くの人に愛されてきた「江戸古花」百十品種を始め古花の花菖蒲を主にした園を皆さん楽しんで頂いております。中世青梅地方が柚保（そまのほ）と呼ばれていた事から「柚保花菖蒲園」



小林昇氏愛培平成 20 年開花初日



小林昇氏愛培平成 21 年開花二日目



山脇勇氏愛培平成 21 年開花初日



山脇勇氏愛培平成 21 年開花二日目

と命名しました。又、多くの方と花菖蒲の話が出来れば楽しい老後が過ごせるだろうと街の数か所に花菖蒲を飾らせていただいたり、訪れて下さる方に余剰苗をあげたり日々楽しんでおります。

神奈川県横浜市 石井 湜

（宇宙の魅力）

ご存じのように宇宙は八重咲き種に属する花である。時間とともに花容もどんどん変化する。さらに、一般的な八重咲きとは少々趣が異なつて居り内弁の乱れが多く、個体によつては開花初期からは想像も付かないような形に変化して行く（狂い咲きと言う表現方法は有るが、こと宇宙に関しては、私は、進化すると言う表現の方が適切だと思つている）。

花卉の色は青系統に属し、他の多くの花菖蒲と同じ様に、咲き始めは濃色、開花が進むとともに色が淡く円やかになつて行く。

性質が比較的弱く繁殖力もあまり強くない品種ゆえ、愛培家も少なく希少品種で観る機会も少ないので、蕾が膨らみ始めると開花を迎えた喜びと共に花容に対する期待と不安が同時に脳裏に押し寄せて来る。

菖翁ご自身が（何か一品だけ選ぶとすれば何を？と、問われ、『宇宙を』と答えた、と言う話が伝わつて居る。

この宇宙の何処にそんな魅力が有るのだろうか？

繁殖力が弱く栽培にも熟練した技術が要求され、巷でも目に触れることは皆無と言つて良い。『モドキ』（良く似てはいるが別品種）すら有るようだ。

貴重品種として扱われる由縁である。過去には一株百万円で売りに出されたことも記録には残っている。

内弁に汚れや縮れ、歪みなどが出易く写真映りが悪い、所謂、花の正面が無い！（正面と思われる向きでは花形が良く見えない事も多い等々）花だつてきつと綺麗に、魅力的に、美しく写して欲しいと思つているに相違ないのに、である。数少ないチャンスを活かして出来る限り記録に残したい！とシッターを切り続けた。

花と対話をしていると、花が自ら答えを返して呉れることがある。あッ！これだ！これが宇宙の隠れた魅力なんだ。弱い、難しい、歪弁傷弁が出易い、にも関わらず、変幻自在の花容、稀ではあるが全開した時のボリューム感等愛培家冥利に尽きる思いがする。誠に奥が深く魅力が尽きない品種である事は間違いない。

以下に何枚かの花容をお見せしましょう。会員諸兄氏のご感想、ご意見を伺えれば幸である。

神奈川県横浜市 稲垣敏明

（最近の取組み）

平成5年に地植えから初め、平成13年から鉢植えにシフトして今日に至っています。毎年四百鉢を育てています。小林昇氏、橋本卓雄氏といった先達に指導を受けた割には結果が十分出せ

ていません。

何が不足か改めて省みると、技術はさておき、まず熱意の差に気がつきます。植え替えはそれこそ歯を食いしばって短期集中でやっていますが、施肥時期の秋頃からは仕事の都合もあり手入れにばらつきが始め、芽出し以降はやれ雪割草だ巻柏だと気が散って、開花に向けた詰め作業が甘くなっています。先輩達はこうした甘さがなく、常に花菖蒲に対して情熱を傾けています。

そこで熱意の持続に着目し、それを達成するために「バケツサイズの花」作りを目標に置きました。これは協会展示会の折に福住康文氏から聞いたもので、近年見られなくなったとのこと。本来の芸を引き出し開花させた成果に夢を馳せながら水やりをしているこの頃です。

神奈川県横浜市 金子キミエ

花菖蒲と共に 40年
水郷潮来の近くで生まれた私は、結婚により横浜に住むことになりました。
40年前のことです。

郷里の花、花菖蒲を、初めは小さな池の周りや鉢に植えて、子育てをしながら楽しんでいました。沢山増えて地植えするようになり、一面に咲いた赤紫の花菖蒲を写真に収めました。

この時の一枚の写真が、たまたま、

カキツバタの研究家宮崎英男先生の目に触れ、先生のお誘いを受けて日本花菖蒲協会の末席を汚すことになりました。今、考えてみれば、本格的な花菖蒲人生が始まったのは、この時からです。

入会して、先ず、驚いたのは、花菖蒲の種類が多すぎです。この多くの種類には一つひとつ素敵な名前が付けられていることも驚きの一つでした。

毎年、協会の配布苗などで種類も増え、色とりどりのお花が咲くようになり、益々花菖蒲に魅せられていきました。時には、夫や実家の父母からも株分けの手伝いを受け夢中で育てているうちに、噂も広がり、年々、お花を見に来る方も増えてきました。多い年には百人を超えることもありました。疲れたけれども楽しかった思い出です。その後、区画整理により移転しましたが、花菖蒲と共に再スタートすることになりました。

約10年前には三池延和先生の口利きで、NHK「趣味の園芸」(花のある暮らし)に出させていただきました。さらに、本年は椎野昌宏会長の紹介でNHK教育テレビ「美の壺」(テーマ花菖蒲)に出させていただきました。
数年前から、神奈川県立フラワーセンター大船植物園にて、毎年開催される当協会主催の花菖蒲展示会に出展するため、地植えから1ポット1株植える

にする育成方法に切り替えましたが、土のブレンドや肥料のこと、夏越しの難しさなど、課題が沢山見えて来ました。地植えで満開になったあの時の、あの華やかさは忘れられません。しかし、品種の管理上からは地植えに戻すこともできません。ポット植えでも見事な花菖蒲を咲かせるため、これからは失敗を恐れず試行錯誤を続けたいと思っています。皆様のご指導、ご助言をお願いいたします。

神奈川県横浜市 中嶋 克巳

花菖蒲協会創立80周年
に当たって

花菖蒲協会創立80周年おめでとう
ございます。

私事ですが大輪朝顔の世界に足を踏み入れて45年が経ち、よくもまあ続いたものと我ながら感心しています。しかし貴会の歴史はその2倍に相当し、その中に戦時中のどさくさ時代も含まれていることを考えると、先人の方々の苦労と努力は如何ばかりかと心から敬意を表します。

私の朝顔の師が花菖蒲とさくらそうの栽培も手掛けていたので、朝顔に入門と同時に花菖蒲にも入門することになりましたが、当初は肥後系だけ50品種位でしたでしょうか。併せてさくらそうにも入門したのですが、師の所有していた品種は余り多くなかったので、

各地のさくらそう会に入会したり先輩を訪ねたりして品種の蒐集を図りました。そのような会に参加する度にいつも顔を逢わせる人がいて、名前も知らなかったのですが度々顔を逢わせるのになりました。その人は後に会長となった椎野昌宏さんでした。

我が家を訪ねられた折、花菖蒲で私が最も好んでいた苗を進呈しました。私が無理やり押し付けたのか所望されたのかは失念しましたが、品種は肥後系の「秋の錦」と「友鶴」であったことは、30年以上も経ったのに何故か今も鮮明に覚えています。その後もさくらそうや朝顔を通じて交流は深めていたものの、椎野さんと花菖蒲という図式は私の念頭に無くそのこと事態忘れていました。気が付いた時は花菖蒲協会の理事長と云う肩書が付いている時でした。

後で伺ったところ、花菖蒲は私と知合うまでは全く縁が無かったが、そこまでのめり込んだのは「秋の錦」の美しさに虜になったのが理由の1つとのことでした。今私はある事情で花菖蒲の栽培を休んでいます。この花の美しさは脳裏から消え去ることはありません。もし再開することがあれば間違いなく「秋の錦」を、いの一筆入手することでしょう。

貴会の益々の発展を祈って拙文を終

わります。

神奈川県横須賀市 飯島 瑛雄

〔花菖蒲事始め〕

もう40年以上も前のことになりました。当時大船（フラワーセンターのある）に住んでいらした某氏より譲って戴いたのが肥後花菖蒲です。これの出所が横浜市磯子区の西田衆芳園さんから購入された由緒ある名花だったとは後日知ることになります。門外不出とされているから大切にしてください。作り方は、開花後、来年のために必ず植え替えること。成長をみて肥料をやるが、貧弱に育てると毎年花が咲かないのでよく観察するように。こんな具合で栽培がはじまりました。

翌年の開花はとても感激した記憶があります。大丈夫、児化粧、万戸の声、神楽獅子、石橋、内裏、誰が袖、海蛭、舞子の浜、など立派な花が揃っていました。ちょうどそのころは丸子植物園が下丸子 から逗子へ転居された数年後でした。逗子へは他の植物のことでよく通ったものです。

その後しばらくはあまり力が入らず、まあ植え替えておくのが精一杯でした。近年になって椎野会長にお会いする機会があり、お勧めいただき当会会員にさせていただきました。展示会を拝見し、皆さまの力作を目にし、来年の展示会を目指して気合の入ったところ

です。皆様のご指導よろしくお願いいたします。

神奈川県鎌倉市 後藤英樹

〔野花菖蒲にみせられて〕

最近会員にいただいた後藤と申します。もともと野人の雰囲気で、そんなに花に興味があつた訳ではないのですが、最近、湘南の方に帰ってきまして猛烈に花菖蒲が好きになってきました。特に、あまり見ることは出来ませんが野花菖蒲にみせられております。近辺には花菖蒲や著莪がよくさいっており本当にきれいです。

昔から大船フラワーセンターにはよくいっておりましたが、花菖蒲協会の展示会をやっているのを発見し、毎年楽しみにしております。会員の皆様は丹誠込めて育てられた花菖蒲が本当にきれいで、色々解説もしていただき勉強になっております。また箱根の湿生花園でも野花菖蒲を楽しんでおります。庭にも花菖蒲を植えています。あまりかっこ良くはないような気がしますが愛しく思っております。種苗もおくつていただき感激しました。今後は研究会などにも参加させていただきたく思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

神奈川県藤沢市 福住康文

〔消えた名花たち〕

昭和50年頃から横浜の衆芳園に足繁く通つて、西田勇氏（元会長）より色々な花菖蒲の話聞かせて頂きました。当時の衆芳園には、代々の園主らが出した250余の品種があり、どれもが甲乙つけがたい名花でした。しかし、十数年前に園が花菖蒲の育成、販売をやめた後、あの名花たちのほとんどは見かける事もなく、どこへ消えてしまったのだろうか。特に、次の品種は探し出して保存しておきたいものです。もし、所在をご存じの方、又は、お持ちの方は、御一報いただければと思います。

赤系―裊裳の舞、岩戸神楽、萬歳樂
白系―大八洲、銀世界、銀の壺、雲の駆波、大雪山、立波
紫系―大紫、栄冠、崑崙、殿上人、鳴門、福寿海、松風、松の木蔭、松の友
白筋入り等―青の光、天の橋立、神の光、雲の峯、滄海、大黒天、明眸

神奈川県藤沢市 古川仁朗

〔アヤメ科植物の葉〕

と名称の由来

創立八十周年の原稿の依頼があつたので、筆者が過去に「ガーデンライフ」誌に投稿した記事からアヤメ科植物の葉と名称の由来について拾つてみました。

アヤメ科植物は、花の構造から分類さ

れて、フリージア属、グラジオラス属、ニワゼキショウ属、ヒオウギ属、クロッカス属などの小属と多くの種類を含むアヤメ属「アイリス」があります。葉の共通点は、いずれも単葉面で葉の「裏」側だけで「表」はありません。植物学上、「葉の表」の定義は、「茎の伸びていく方向に面している側」ですので、アヤメ科の植物は、葉の基部で「表」の部分がくっついて成長し、外側の「裏」面が現れている特殊な葉です。

次に、名称の由来ですが、アヤメは「文目」の意で、葉が立って列をなして並ぶ姿が美しい「アヤ」と見なして。ハナシヨウブは、葉は菖蒲「サトイモ科」に似ているが花が咲くから。カキツバタは書きつけ花の名から、昔は花の汁で布を染めたそうです。イチハツは、アヤメ科の中でもっとも早く咲く「一初」から。シヤガは、オウギの漢名「射手」に由来しており、三倍体で種ができません。（ガーデンライフ242号より）



神奈川県秦野市 片倉邦弘

「ほほ笑みロード」

毎年機関誌や苗を協会様よりお送り頂き勉強になり心より感謝申しあげます。

花菖蒲を知人から譲り受け栽培を始めてから約20年が過ぎます。当方、家族経営の酒店を営んでいます。皆花菖蒲が好きで畑に約100坪程の地植えと150程の鉢植えを栽培しています。また8年前から、近くの河川敷の散歩道沿いの花壇に栽培しています。当時、散歩道整備後、管理される事なく草に覆われ花壇どころか道行く人もいない状態でしたが、川のせせらぎと背後の丹沢の山並の背景が花菖蒲に合うのではと、約2キロに渡り、散在する大小25の花壇を県より借用し、家族で少しずつ開墾しながら花菖蒲を植えていきました。その道を「ほほ笑み



ロード」と名付け、綺麗になるに従い道行く人も増え初夏の開花を楽しみにしてくれているようです。花壇故に連作障害との闘いですが今後も頑張りまします。今年もきつと綺麗な花菖蒲が道行く人をほほ笑ませてくれると思います。

長野県下伊那郡 岡本淳一

「花菖蒲と私」

もう二十年ほど前の会報に書きましたが、私と花菖蒲の出逢いは、私が勤めていたある小学校で、六月、女の先生が花菖蒲をたくさん持ってきたとき、気品のある美しい花で私の心情に訴えるものがあつたこと、私の町にはノハナショウブの自生地があること、私には母方の大叔父に当たる宮澤文吾が若い頃、神奈川県農業試験場において育種をし、三百品種ほどを作出したことなどによります。

私にとって花菖蒲は、他の花に比べて格別な花です。花期でないときも冬の休眠期も、一年を通して関心のある花です。日本人の心情にぴったりの花と言つてよいでしょう。

「ほほ笑みロード」
花菖蒲が好きになつたので、生前の平尾秀一先生に手紙を書きましたところ、「歓迎したい」とのご返事を頂きました。このことから、会員のひとりにして貰いました。

私は、この花を今後も大切に育てたいと思います。

新潟県新発田市 山崎英輝

私の住む街に、別名菖蒲城と呼ばれる新発田城があります。しかし、お城にアヤメは殆どありません。

また、城内（現自衛隊敷地内）に旧陸軍16連隊兵舎が2棟現存し、1棟は移築していない兵舎としては日本最古（明治初期）です。しかし自衛隊の計画により解体移築の危機にあります。

16連隊は菖蒲城部隊といわれ、連隊歌にアヤメも歌われています。アヤメを歌い命をささげた先人達の思いを孫世代の自分達が、その場所（菖蒲城内）で形見としてつなぎ伝えたいという思いが強いのですが、個人では限界があります。そこで、市の花でもあり特別な思いのあるアヤメを市民の目にふれる場所に植え、遺伝子に眠る潜在意識に訴えようという狙いもあり、市内のアヤメ園より株を頂戴し、福祉施設や道路脇等に、アヤメや花菖蒲を植栽する活動をしてきました。今は鉢植えでお城や名所での展示を目指しています。が、試行錯誤の状態です。今後ともご指導願います。

静岡県浜松市 斉藤一雄

私は、花菖蒲の栽培を始めてから10年近くになります。今までは、畑で栽培していましたが、今年初めて休耕田を利用し、田圃に株分けしたものを植

えましたが、虫の害がひどく、来年の開花を心配しています。

毎年、少しずつ、好みの株を増やして、現在、約60種、約800株を植えています。

毎年、協会からの株を楽しみに待っています。

愛知県岡崎市 香村敏郎

「常緑「Lris」の種間交雑育種」

近年、地球の温度は上昇傾向にあると言われている。事実により4度前後の高温化により、北極海の氷や、南極の氷も溶けだして、海水面の上昇により低水面の諸島は、海水に呑み込まれる危険性が指摘されている。この原因は太陽の黒点の減少、地球上の森林の伐採や工業化、自動車等の増加による炭酸ガスの排出量増加と、それを消費する植物等の吸収不足によると言われている。そこで、新種の開発と、当時としては思い付きの発想から、日本にある代表的な3種の「Lris」種（アヤメ・カキツバタ・ハナショウブ）の常緑化を図ろうとした次第である。

ところが、我が家の庭で栽培していた「Lris」のうち常緑性の種は「ルイジアナアヤメ（リンダ）」と「寒アヤメ」の2種であった。そこで、平成7年に「寒アヤメ」の花粉を保存しておき、「ルイジアナアヤメ」と交配した。この両種の交配は結実し、若干のF1種子が



F1ルイ×寒ア



寒アヤメ



♀ルイジアナ

えられたが、「ハナシヨウブ」との交配は結実しなかった。翌年このF1植物を栽培したところ、常緑性で、生育は旺盛であり、開花までに3年ほどかかったが、開花したF1の花色はほぼ父親に似た青色で、花容は母親に似て、柱頭は大きく、花弁も内・外花被ともにやや広く、大きく、小型ながら「ハナシヨウブ」に近い花形であった。花は多少鑑賞にも向き、また、葉型は広く、厚く、多肥すれば、生育旺盛で、おそらく一年中の同化能力は高いものと推定された。日本花菖蒲協会の編の「世界のアイリス」書を拝見すると、アメリカではルイジアナ州からミシシッピ川流域にかけて自生するアイリス（現地では雑草として退治に困っているようだが）5原種をもとに1920年以來、改良を進め、赤、黄、青色の花弁数の多い多数の品種の作出に成功している。良い品種をお持ちの方は、是非ご分譲をお願いする次第です。

三重県松阪市 松尾 良子

私の住んでいる隣町に百坪ほどの土地一面にみごとな花菖蒲を作っている方がおられます。数年後は隣の土地に花菖蒲を移動させ、ています。別の方はガレージ一杯に美しい鉢植えの花菖蒲を咲かせています。その方の家の裏には広い畑があります。どちらも広い土地があつて出来る事だと思います。

絵本作家で、園芸家としても有名なターシャ・テューダーの本「ターシャの庭」にはたくさん紫の花菖蒲が他の花と一緒に咲いているのが見られます。三〇万坪といわれる庭には日本の椿や芍薬もありますが、そのレイアウトの素晴らしさに息をのみます。私の所は四百数十メートルの高さの所に畑がありますが、同じ花菖蒲でも家の庭より鮮やかな色になります。私もターシャのように他の花と混ぜて植えていますが、狭い土地での土のやりくりと、まわりとの景観という意味でも花菖蒲作りは難しくなっていると思います。

三重県松阪市 中田邦雄

伊勢（松阪）花菖蒲古花の保存会

私は協会に入会してまだ二年です。

花菖蒲の栽培を始めたのは定年後に入会した松阪三珍花保存会での学びからでした。最初貰った苗の多くは枯らしてしまい、毎年六月の植え替え後の夏を乗り切らすのが私にはなかなか難しく未熟さを実感しております。松阪三珍花保存会は三重県の天然記念物のイセナデシコ、イセハナシヨウブ、イセギクの保存と普及を目的にした園芸愛好家の集まりです。伊勢系花菖蒲の重要性を知りましたのは協会の会員の方よりお借りした会報の中で伊勢系花菖蒲の劣勢の実態でした。松阪三珍花保存会では、会報第28号の中で故田

中信一氏の「伊勢ハナシヨウブの古花」で紹介された50余種の大半年約15株をこの7月と9月に松阪市の「鈴の森公園」で植え替え作業を行いました。皆さん松阪にお出かけ下さり新花についても教えてください。

滋賀県大津市 冨増和彦

実生を始めて10年以上になる。ここ数年、仕事が忙しく、ほとんど種をまくことができないが、細々でも新しい花を夢見て育てて行きたい。写真は早くに登録した「紫揚羽」で、蜘蛛手も見られる品種である。

花菖蒲は一品種の咲く期間が一週間程度と短く、近年のガーデンング基調にはそぐわない点もある。同じ鉢の中で季節を違えて咲かせる花を同時に育て、共存共栄が図れるようであれば理



紫揚羽

想的である。これまでの経験では、あまり草丈の伸びないさくらそう、マリゴールドやロベリア、忘れな草（宿根化しやすい）、球根の花にら（夏も過湿状態で腐らず）などが共生可能のようである。ロベリアは花色もブルー等で涼しげでほぼ年中咲き、最近の改良種は耐暑性耐寒性も格段にアップしている。こぼれ種で簡単に増え、かなり根や茎を切り詰めても活着しやすいので花菖蒲植え替えの際に大胆に切っても大丈夫である。

滋賀県彦根市 沖田 充浩

私がこのたび入会しましたのは、ハナショウブ以上にカキツバタに魅かれ、くわしく知りたいと思ったからです。これまで本やネットで調べてみました。これが、どれも『いずれあやめかかきつばた』のことわざの紹介ばかりで肝心の育て方がわからずじまいでした。こちらのホームページを拝見し、ハナショウブ以外に他のアヤメ類についても深く掘り下げているのに驚きました。過去に二度カキツバタの栽培に失敗している私はいくつかの記事を拝見して育て方のヒントを得ました。もっと多くを知りたいと思い入会しましたが、趣味の範囲を超えた大学の論文さながらの会報記事の内容にさらに驚きました。決して趣味では終わらせない、好きなものはとことん究める皆様の姿勢が窺

えました。最後にになりましたが、創立80周年おめでとうございます。こちらに出会えたご縁を大切にしたいと思います。どうぞよろしく願います。

奈良県宇陀市 日下志 拓也

（花の郷 滝谷花しょうぶ園）
日本花菖蒲協会創立八十周年をむかへて、

日本花菖蒲協会創立八十周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

地域の活性化を願い地元集落の有志の熱い思いのもと滝谷花しょうぶ園として開園し、本年度で二十四周年の年月を重ねさせていただきました。当園が開園した頃はまだ高校生だった私も、学生・社会人と地元を離れ、今から九年前に父の体調不良のため地元に戻ったのを機に花菖蒲園の管理・育成そして園の運営にと携わらせていただいたております。当初は、自然相手の仕事に戸惑いを感じ、また花菖蒲を育てることの難しさを痛切いたしました。除草に始まり施肥・殺虫・殺菌・中耕・株分け・地作り・焼却など一年を通して毎年同じ作業の繰り返しの中にある自然相手の難しさに幾度も遭遇いたしました。当園のように休耕田を利用して露地に植付けしている観賞園はそれぞれの圃場にそれぞれの性格があり、保

水力のある圃場やそうでないもの、日照時間の長い圃場やそうでないもの等、その圃場にあった育成管理をすることが如何に大切なのかを学びました。最近では、全国的に問題視されています。獣害対策など予期しないことが日々起こっております。また地球温暖化による気温上昇がもたらす花菖蒲をはじめとする花木の開花の早まり等、今なお自然を相手にすることの難しさを痛感しております。

日本を代表する花こそ花菖蒲と言われるように、大変強い反面、繊細な性格を持ち合わせる故に、私も育成する者は、花々との日々の対話の中で変化に気づきたいものであります。

二〇一〇年奈良県では平城遷都千三〇〇年記念事業が開催されます。古都奈良にぜひご来遊たまわり、当園にもお立ち寄りくださいますようお願いいたします。

鳥取県米子市 吉灘 秀一

花菖蒲の出会いから現在までの歩み

花菖蒲に初めて出遭ったのは、忘れもしない平成六年五月ゴールデンウィーク期間中のことでした。そして、その記念する場所は、全国でも有数のフラワーパークの「花回廊」ゲート入り口付近でした。私は、「花回廊」でボランティアガイドをしていました。ガイド

の当番日だったのでいつもはさっさとガイドをするのを習慣としていました。ところが、その日ゲートの近くに差しかけたところ、テントを張り花菖蒲を売っている山脇先生と奥様が店番をしておられました。私は、ベンチに腰掛け、興味津々花菖蒲の苗を観賞したり、育て方のパネルを読んできました。私は、テントに近づこうかそれともサッサとガイドに向かおうか？迷った挙句、山脇先生のところへ近づき話かけたのです。

すると山脇先生は、普通の花菖蒲より四倍体の金鯱城のPRを盛んにされるのです。騙されてもいいやと思いの珍しい品種を購入する決心をしました。そうしているとやおら山脇先生が、日本花菖蒲協会への勧誘をされるではありませんか。そして、入会申し込みのパンフレットを渡されました。

山脇先生と縁を感じることが幾度かあります。今年の六月二十日、由志園



「中海の郷」の二番花

に出かけたところ、午前十一時に偶然
バツタリと出会ったのです。偶然はこ
れだけではないのです。私は、日本花
菖蒲協会に在籍されていた故磯村さん
のご子息に偶然出会いました。先生と
故磯村さん。先生と私の繋がりでは本
の糸で繋がったのです。「人生、一期一
会」と申します。大切にしたいと思っ
ます。

最後に、山脇先生、山根さんの御指
導により年々、鉢数も増え、今では百
二十鉢くらいになったのではないでし
ようか。憧れの盆養づくりも四鉢チャ
レンジしてみました。来年まで枯らさ
ずに立派な苗に育成できるだろうかと
不安に駆られます。多くの鉢を持つと株
分け、植え替えが大変ですね。皆さん
のご苦労がわかってきました。私は、
まだ慣れないせいもありますが、相当
の稼動日数がかかり会社勤めをしまし
らなので、九月末でようやく全部植え
替えが終了しました。来年の咲いた風
景を想像しながら、一鉢一鉢観察の毎
日です。

鳥取県米子市 山根 博充

〜花菖蒲に夢を乗せて〜

今年の鉢植えの中の一鉢に変わった珍
しい花が開花した。その花は昨年(2
008年)に私が作出した「中海の郷」
の二番花からの出来事でした。昨年は
一番花、二番花とも三英咲で開花し二

年目の今年はその中の一鉢が、一番花
は昨年と変わららず三英で開花したが、
二番花で二英花(?)が開花し驚きま
した。今まで花菖蒲の花容は、三英咲
き、六英咲き、八重咲き、獅子咲き、
牡丹咲き、爪咲き、玉咲き、奇数咲き
があると思っていた。しかし今回のこ
とから、花菖蒲は変異性に富んだ植物
であることが現実には判ってきました。

恒例の展示会も6月に入り鳥取県の
中部あやめ池公園、西部のJ.A.アスパ
ル、東部の鳥取産業体育館と各会場も
増え、それぞれ二日間でしたが花菖蒲
を通じ一人でも多くの人々に何かを感
じとって頂いた日々でした。

私は鉢植えの栽培の他に、新品種の
育種に興味を持ち、毎年交配をして数
百個の種を蒔いて実生花を楽しんでい
ます。今年も新品種をいくつか作出し
ました。どんな花が開花するか、その
醍醐味は育種してみないと分からない
ものがあり、花菖蒲の楽しみ方の一つ
として大切にしています。私の夢は、
「香りのする花菖蒲」を作出すること
です。この夢を実現して展示会等で鑑
賞者の驚きの顔を想像しながら日々実
現に向けて努力している今日この頃で
す。このことに関する会員の皆様から
の情報提供をお願いします。

鳥取県琴浦町 前田敏光

〜協会に入会して〜

入会は、山脇信正氏との出会がきつ
かけです。私が、昭和36年4月人学、
新任の英語の教師で赴任して来られた
のが出会いの始まりで恩師でも有りま
す。その後何度か会ったり、花菖蒲栽
培されているのを地元テレビ・新聞
で知ったりしていました。近年は正月
に咲かせる事ですます有名になって
おられました。

平成20年9月21日に私たちの還暦
の同級会の懇親会で酒を酌み交わした
時、今度家に来いと言われ、週末の27
日に先生の家で講習会があったのでさ
っそくお邪魔しました。その時5株と
寄せ植え用3株を譲り受け教わった通
りに鉢に植えました。

今年きれいに全部咲きました。7月
に株分けを教えてもらおうと電話した
ところ、今その作業をしているからす
ぐ来いと言われお邪魔し、また10株譲
り受けその時入会を勧められて入会し
ました。

6月の展示会で3品種注文していて
その中に宇宙が入っていたので注文し
ていたのはおまえ一人で目が高いと言
われました。
今後枯らさないように管理し少しずつ
増やしていき、わからないことがあれ
ば先生や会員の方に教わろうと思っ
ています。

鳥取県湯梨浜町 蕨原 一子

〜私と花菖蒲との出会い〜

私と花菖蒲との出会いは、十数年前
になります。ある日のこと知人から「今
年はあやめがたくさん花を付けたから
見に来て」と声があり、早速行つて見
ると畠に色々な花が咲き乱れていまし
た。そして知人に聞くと、花は3〜4
日で萎みまた次の芽が開花すること、
この花は花菖蒲と言うことも初めて聞
きました。花菖蒲という花を目の前で
つくづく眺め話を聞いたのはこの時
が初めてで、五株くらい貰って鉢植え
にして帰りました。

翌年株分けして植えた花菖蒲が見事
に開花して大喜び、あの小さな苗から
こんな大輪が咲くとは信じられない気
持で一杯でした。早速近くにある「あ
やめ池」に出かけ、今まではただ見て
通るだけの花菖蒲をこの度は種類や土
栽培方法など愛好者から学んで帰ら
りました。



あやめ池コンクール表彰式

以来、毎年鉢数や花の品種は徐々に増えて行く中、平成十四年新聞で紹介された米子市の磯村邸を訪れました。

そこには何十種類とも知れない彩美しい花菖蒲鉢が手作りの高架の上に整然と区画されて並べられ、傍らでは既に終わった花の植え替えに懸命な磯村さんの姿があり、花に命をこめて居られるような冒し難い姿を見ました。思いついて尋ねた私の質問に対し、決して饒舌ではない口から自分の花に対する思いと技術を語って頂いたことが今でも忘れられません。

すっかり花菖蒲のとりこになった私に、またして大きな出会いがありました。それは平成十七年頃の山脇信正さんで、当時鳥取花回廊において花菖蒲の展示や苗の頒布をしながら、花菖蒲の魅力と栽培方法を指導されておられた人で、自宅を訪れる機会を得て、そしてびっくり。南面の広大な芝庭には花菖蒲の鉢植えや島への栽培、またその横にはハウス作りの数百の苗ポット、その数と品種に圧倒されてしまいました。

こうして毎年高まってゆく私の花菖蒲熱は平成十九年鳥取県中部のあやめ池公園で開かれた第二回花菖蒲コンテストに出展するまでになり、その結果銀賞を頂戴する栄を受けました。そしてこれを機に、山脇さんの勧めもあって日本花菖蒲協会に入会して花作りに

励んでおりますが、年々花作りの奥の深さと悩みにぶつかっている此の頃です。

岡山県倉敷市 山脇勇

日本花菖蒲協会創立 80 周年 おめでとうございます。

本会の存続にご尽力いただきました諸先輩に心より敬意を表します。

さて、私が花菖蒲と出会ったのは 11 年前の 6 月 1 日に現協会理事の山脇信正氏より深海の星、友鶴、露錦、朝鏡、麦秋、ピンクフロストの 6 品種のポット苗を頂いたのが始まりです。全部蕾がついた苗ですから日毎に蕾がふくらみ次々と色鮮やかな花が咲くのを間近にし、すっかり花菖蒲に魅了されてしまいました。それからは栽培技術を教わったり、自分なりに試行錯誤したりながら現在は 120 品種、250 鉢を育てています。愛着のある最初の 6 品種は 11 年たつとも健在です。会員歴は 9 年になります。花菖蒲観賞旅行にはこれまで 6 回参加させてもらっています。これからも何事もない限り旅行に参加したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

今まで花菖蒲を育てていて驚いた事があります。2003 年（平成 15 年）の事ですが品種名、千鳥の舞のポット苗を買ったのですが咲いた花は千鳥の舞ではなく超巨大輪。花の大きさが 26



秋風の曲

cm もありました。その時の写真を同封します。後で購入した所で調べてもらったところ（秋風の曲）という品種との事でした。その後は 3 年に一度くらいしか咲きませんが普通サイズの花容です。

最後に花菖蒲をこよなく愛する人がいる限り、そして花菖蒲の美しさが不変の限り、日本花菖蒲協会はこれからも長く続いていくと信じています。

岡山県総社市 片岡文男

～黄斑花菖蒲と白斑花菖蒲～

白斑花菖蒲は、葉に白色の不規則な斑が縦に入る縞菖蒲とも呼ばれる花菖蒲で、園芸店やホームセンターなどで販売されていて、すでに入手され長年栽培されている方も多いと思います。黄斑花菖蒲は名前でも解ると思いますが、斑の色は黄色です。黄斑花菖蒲は、

詳細は不明で手持ちの各種資料にも日本花菖蒲協会が発行した花菖蒲品種録目録にも、記載されていません。

◆両種の見分け方

昨年、5月に協会事務局より黄斑花菖蒲と白斑花菖蒲は、同一品種ではないかと疑問に感じている方が多いと聞きました。実際に当方も入手して 2 年位は両種ともに季節で白斑が黄色を帯びたり、黄斑が薄くなり白斑が強い時期もあり、花容も黄斑花菖蒲がやや赤味が強い程度で、両者とも紫三英小輪・草性も草丈も同じで、明らかな相違点が判明しなくて悩む日々が続きました。視点を交える事で意外な相違点を発見しました。それは、両種の基本となる葉色が異なる事です。白斑花菖蒲は白味の強い極端に表現すると銀葉で、黄斑花菖蒲は緑葉です。季節や栽培管理で斑の色が変化する両種ですが、この基本の葉色は 1 年を通して変化することは無く、どなたでも簡単に分類が出来る決定的な相違点だと思います。

◆黄斑花菖蒲の命名

白斑花菖蒲は縞菖蒲として品種録目録に記載されていますが、黄斑花菖蒲は記載が無く、大手種苗会社の通販カタログに斑入り野花菖蒲として掲載がみられます。白斑花菖蒲の命名者などの詳細は不明ですが、「陽」と命名し販売中なので、黄斑花菖蒲を「月」と命



黄斑花菖蒲



白斑花菖蒲

名して品種総目録に記載を考え協会事務局に連絡した結果、当方の説明不足で担当者の方が、縞菖蒲（花容に白い斑入りと明記）と勘違いされたのか、既に江戸時代の文献に記載されていると返信された事。命名の承諾を得るため、黄斑花菖蒲を入手した場所に問合せると経歴を知る方々は退社されていて、詳細を調べる事は困難なため、入手した時の名称を尊重し命名を断念しました。その後、協会報第37号の最終頁に黄斑菖蒲として紹介されましたが、単に菖蒲とすると端午の節句に葉をお風呂に入れるサトイモ科のシマシヨウ

ブと混同する原因に成り、それを避けるため花の一字を入れ黄斑花菖蒲と訂正します。

* サトイモ科のシマシヨウブは、「カラーボックス」358頁、

「園芸ガイド3花菖蒲」 富野耕治著 95頁にカラー写真が記載されています。

徳島県美馬市 大崎 訓子

花さかバアバをめざして
日本花菖蒲協会創立八十周年おめでとうございます。

私は、六年前ふらりと行った山崎花菖蒲園で見た花菖蒲銘花集を全部手に入れたいと、事務局と電話でやりとりしたことが縁で入会しました。旅行好きなので研修旅行には毎年のように参加しています。自宅では何枚もの休耕田に百種類以上の花や木を植えています。一番好きな花は花菖蒲ですが、豪華でありながら気品もあり、水田の水に映えて群れ咲くその姿に引かれます。会報を読むと、観賞の作法（室内）もあるようで茶道に通ずるものを感じます。一年に一度その時期にしか会えないというのも私にとっては魅力の一つです。品種改良、その他研究とは無縁の会員ですが、百周年をめざして絶やさず育てていきたいと思えます。

福岡県大野城市 北 敏幸

実生による白花エヒメアヤメの出現をめざして

エヒメアヤメは中国遼寧省で採集され明治十年（一八七七）新種記載された。研究の歴史が浅く日本は瀬戸内海周辺の火山性高原草地に局限するため解明が遅れている。中国科学院のイリスオプチャイナや南忠大学の発表資料では紫一色であるがダイクスのジーナスイリスには採集者ロスによる基本種の紫からライラック、ピンク、白まで色彩変異が記されている。九州の標高三〜八百メートル程度の低地は青紫がほとんどで変化が少ない。八百〜一千二百メートルの高地は青紫のほかに濃紫から赤紫、ごく薄、白まである。変異個体は株をつくらず岩陰や窪地などにひっそり単独で見かけることが多くがいて弱々しい。白は変異のひとつの極限にあり出現率は四十分の一と低い。花卉をルーペで拡大観察すると表面色の奥に紫の細胞粒子が透けて見え鍍金のような単純な色層構成であることがわかる。莢が小さく種子は十粒程度しか得られず繁殖力が弱いことを示している。自生の生株移動は不可能であるが野生の園芸化で行われるシブリングクロスから強健で良質の園芸個体ができるのではないかと？

選択個体にマージングを施して種子を得る実生実験をここ数年続けている。一代目はほとんど青紫であった。一部

にごく薄色個体が現れた。この個体からセルフで得た二代目を育てていて二年後には開花する。他の個体による一代目も生育中。手数の割に成功率の低い作業のように思えるが目標感の維持と愛着を刺激され何時まで続くかわからない。

米国 デニス・ハガー

花菖蒲について一言

花菖蒲栽培家の私の職業は薬剤師で、薬局を経営しています。数年前に、薬剤製造業者が集まる見本市が開かれ、小売業者にその製品を販売しました。日本の久光製薬の代表者も参加し、ブリスのなかで働いていたのは日本からきた人で、自分たちの製品の注文をとるに足る程度の英語は話していました。他の会社と同じように、彼も宣伝用の賞品を用意していました。その一つに、うちわがありました。片面には会社の宣伝文句が印刷されていました。他の面には花菖蒲が印刷されていました。私はそのうちわを指さして、思わず、はなしようぶ(Hanashobu)、と叫びました。それは私が知っているただひとつの日本語でした。彼にとっては外国人として、あの見本市で聞いた最初の日本語だったでしょう。そしてこの米国で花菖蒲のことを知っており、また栽培までしている人を発見してさぞ驚いたことでしょう。